

しなののうた

山々に一際聳ゆ飯綱山の初冠雪を眩しみながむ



杉田小百合

しなののうた

澄む空に翼光らせてオスプレイ轟音たてて北に向かひぬ

杉田小百合



しなののうた

葉を落とす高き櫓の隙間より今朝くつきりと槍ヶ岳見ゆ



杉田小百合

しなののうた

真夜覚めて夜空仰げば漆黒の闇に浮かべる三日月怪し

杉田小百合



しなののうた

図書館へ返本をする道すがら山茶花の白南天の赤



杉田小百合